

紙芝居・絵本，ポスター，マーク，標語，メッセージ コンクールの審査，集計

【キャンペーンとコンクールの目的】

- ・子ども達や非喫煙者の健康をタバコの煙から守り，また未成年・思春期の喫煙防止とその社会環境づくりのために，「たばこはやめて！，吸っちゃダメ！ - 家族や身近な人へのメッセージ」をメインテーマにコンクールを行い，その入選作品を活用して，啓発ポスター（第16回事業は24万枚を全国の学校，公共機関，病院などに無料配布・掲示），紙芝居・絵本，CD，人形劇，シール，文具などを制作し，家庭や身近な環境で，受動喫煙の防止と喫煙防止対策の広がりを促進しようとするものです。

【審査会】2003年12月15日（月）10時～17時 大阪がん予防検診センター

- 【審査員】 中川健蔵（絵本作家），森野泰起（厚生労働省健康局，生活習慣病対策室長補佐）
（順不同） 鬼頭英明（文部科学省スポーツ・青少年局，学校健康教育課 健康教育調査官）
堀田 穰（関西紙芝居文化研究会・代表），岩重敏子（箕面紙芝居まつり実行委員）
新谷隆夫（水彩画家，前中学校長），瓜生隆子（前小学校長）
脇谷邦子（大阪府立中央図書館），小林康代（大阪市立旭図書館長）
孝岡真理子（えほんらいぶ代表）
高部遵子（コピーライター），丹羽善二（前中学校美術科教諭）
垣内みどり（たばこ問題を考える会・和歌山 世話人） 計13人

【審査基準と審査方法】

- (1) 啓発趣旨に合致し，タバコの害・迷惑を表現している。タバコを吸わないことを推奨する。明るく，シンプルで，わかりやすい。ユニークでアピール力がある。などで審査しました。
（目の表現が××や><は表現力としてはありきたり。吸いすぎ注意，タバコは20歳からは選外。）
- (2) 審査は，地域・学校名等を伏せて一次～四次（最終）審査を行い，最終審査では3ランクの得点投票を行い，合計得点を参考に，協議の上，賞を選定しました。
- (3) 審査は，ポスターは，幼児，小学生1～2年，3～4年，5～6年，中学生，高校生以上成人に分けて行い，紙芝居・絵本，マーク，標語，メッセージは年齢を分けずに行いました。
- (4) 各部門の最優秀を厚生労働大臣賞，文部科学大臣賞とし，優秀賞，優良賞の内，大阪府下の応募作品の中から，大阪府知事賞・教育委員会賞を選定しました。